

第5回アフリカ開発会議(TICAD V)パートナー事業



講演 野口博士ゆかりの細菌検査室

保存運動18年



写真提供：公益財団法人 野口英世記念会

5/25 (土)

会場：長浜ホール

時間：午後2時～

入場無料
定員100名

～それは一人の女性の決意からであった～

かつての長浜検疫所や細菌検査室の貴重な写真の公開や野口博士を知る方々のエピソードの紹介など「18年間の保存運動のすべて」をお話いただきます。

講演者 細菌検査室保存会顧問 小暮 葉満子 氏



元神奈川フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター七澤清貴氏による演奏が彩りをそえます。



■主催：横浜市長浜ホール ■協力：野口英世細菌検査室保存会
■後援：内閣府野口英世アフリカ賞担当室・横浜市文化観光局・横浜市金沢区
■問合せ：横浜市長浜ホール ☎045-782-7371

参加方法

長浜ホールへ電話、FAX、Eメール、窓口でお申し込みください。
お申し込み先は、裏面をご覧ください。

細菌検査室の保存運動

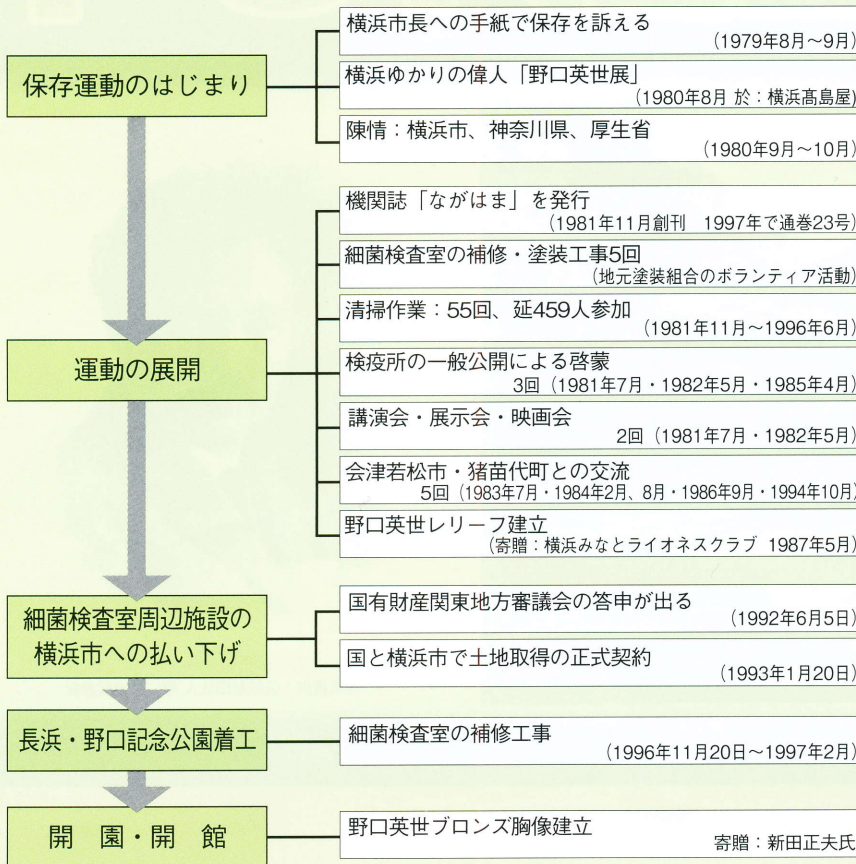
新聞その他の情報で、細菌検査室の取り壊しを知った一人の女性(小暮葉満子さん)が大きな衝撃を受け、意を決して当時の大蔵省、厚生省、建設省ほか横浜市に細菌検査室の保存を訴え、その運動の輪を広げ、さまざまな活動を展開しました。18年間におよぶ保存運動の成果として、横浜市が土地を国から買収し、長浜野口記念公園の重要な施設として細菌検査室は保存され蘇りました。

今回の講演では、かつての検疫所や細菌検査室の貴重な写真の公開、野口博士を知る方々のエピソードの紹介など「18年間の保存運動のすべて」をお話いただきます。



ボランティア活動による清掃作業
(1984年5月)

保存運動18年の歩み



金沢・磯子塗装組合のボランティア活動-1
(1984年9月)



金沢・磯子塗装組合のボランティア活動-2
(1984年9月)



保存運動の結果、取り壊しを免れた細菌検査室
(1985年12月)



野口英世細菌検査室保存会
小暮 葉満子 顧問

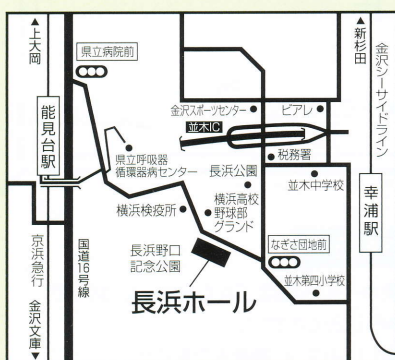
1933年横浜生まれ。

1979年野口博士が横浜で勤めていた細菌検査室の保存を提唱し、「野口英世博士ゆかりの細菌検査室保存をすすめる会」を組織、中心的役割を果たす。

活動の記録である機関紙「ながはま」を発刊、市民に保存運動の輪を広げる一方、報道機関を媒体として広く保存活動を展開。

18年間の懸命な保存運動により、1997年5月22日、横浜市により「長浜野口記念公園」が開園し、取り壊しが予定されていた野口博士ゆかりの細菌検査室の保存・公開を実現。

その後も「ながはま」の合本(上・下)、「今ふたたび野口英世」(2000年5月)、「野口英世 - 21世紀に生きる」(2004年7月)の編集と発刊を行った。



長浜ホール

〒236-0011

横浜市金沢区長浜114-4 長浜野口記念公園内

TEL : 045-782-7371 FAX : 045-782-7389

✉ nagahama-hall@nagahama-hall.com

http://www.nagahama-hall.com/

●京浜急行「能見台駅」下車 徒歩15分

●金沢シーサイドライン「幸浦駅」下車 徒歩15分